

### 第3節 ごみの減量・処理等について

総合クリーンセンターは平成8年4月に運転を開始しました。集積所から収集したごみや市民が搬入したごみを適正に処理するとともに、廃棄物の排出量を抑制し、再生利用を促進することにより、廃棄物の減量及び資源の有効利用を推進し、地域の生活環境の保持及び資源の循環利用を図る事業を行っています。

ごみの処理や再利用などに関するデータについては次表のとおりです。

#### ① ごみ処理量及びごみ処理にかかる経費について

##### ・ごみ処理量及びごみ処理にかかる経費

項 目	単位	H27	H28	H29	H30	R元
ごみ量	トン	45,557.66	45,113.78	44,634.44	44,304.89	44,222.32
人 口 (各年10月1日)	人	149,556	149,140	148,708	148,452	147,986
世帯数 (各年10月1日)	世帯	62,945	63,603	64,293	65,100	65,841
一人一日当り	g	835	829	822	818	816
一世帯一日当り	g	1,983	1,943	1,902	1,865	1,835
決算額	千円	1,780,691	1,784,337	1,777,272	1,786,547	1,792,133
一人当り	円	11,907	11,964	11,951	12,035	12,110
一世帯当り	円	28,290	28,054	27,643	27,443	27,219
項 目	単位	R2	R3	R4	R5	R6
ごみ量	トン	44,321.35	43,237.32	41,885.84	39,779.67	38,866.29
人 口 (各年10月1日)	人	147,312	146,419	145,830	144,944	143,769
世帯数 (各年10月1日)	世帯	66,418	66,873	67,496	67,945	68,395
一人一日当り	g	824	809	787	750	741
一世帯一日当り	g	1,828	1,771	1,700	1,600	1,553
決算額	千円	1,796,278	1,653,703	1,854,809	1,953,859	1,816,930
一人当り	円	12,194	11,294	12,719	13,480	12,638
一世帯当り	円	27,045	24,729	27,480	28,756	26,565

(入間市総合クリーンセンター資料より)

・種類別ごみ処理量

(単位：トン)

種 類		H27	H28	H29	H30	R元
可燃ごみ		34,628.29	34,456.78	34,192.50	33,895.72	33,549.28
不燃ごみ		1,924.91	1,905.61	1,827.03	1,874.89	1,983.95
資源ごみ	プラスチック・ビニール類	2,340.84	2,325.75	2,333.83	2,337.40	2,371.46
	ビン	1,026.21	995.21	950.65	916.88	890.03
	缶	317.22	309.28	326.00	332.16	322.77
	ペットボトル	478.28	461.27	501.25	496.49	484.12
	古布	394.81	453.31	450.01	457.65	469.96
	紙類	2,113.62	1,883.32	1,721.91	1,617.24	1,599.51
粗大ごみ		2,256.85	2,235.70	2,253.15	2,301.89	2,473.82
不法投棄物		76.63	87.55	78.11	74.57	77.42
合 計		45,557.66	45,113.78	44,634.44	44,304.89	44,222.32

種 類		R2	R3	R4	R5	R6
可燃ごみ		33,097.07	32,458.64	31,722.92	30,314.56	29,608.28
不燃ごみ		2,054.60	1,801.40	1,732.79	1,436.78	1,363.77
資源ごみ	プラスチック・ビニール類	2,458.45	2,435.37	2,377.80	2,501.45	2,489.77
	ビン	923.64	890.69	881.90	793.59	757.05
	缶	322.69	326.79	331.46	302.39	281.09
	ペットボトル	501.20	500.98	505.58	505.97	486.58
	古布	523.62	540.25	484.07	410.46	345.30
	紙類	1,698.44	1,710.48	1,473.93	1,240.94	1,357.59
粗大ごみ		2,672.59	2,509.92	2,307.65	2,212.03	2,151.49
不法投棄物		69.05	62.80	67.74	61.50	25.37
合 計		44,321.35	43,237.32	41,885.84	39,779.67	38,866.29

(入間市総合クリーンセンター資料より)

## ② 資源再利用（有価物回収量）について

種 類	単位	H27	H28	H29	H30	R元
織 維	kg	107,291	101,085	101,160	94,655	95,743
紙	kg	2,633,051	2,467,344	2,320,342	2,084,186	1,899,427
紙パック	kg	16,928	17,049	16,140	15,090	14,063
空ビン	本	6,225	5,696	5,010	2,775	1,095
金属類	kg	48,568	44,886	44,341	39,356	37,709

種 類	単位	R2	R3	R4	R5	R6
織 維	kg	45,648	32,789	34,560	31,890	42,942
紙	kg	1,494,503	1,367,677	1,321,158	1,211,800	1,115,552
紙パック	kg	11,008	9,588	9,441	8,977	8,311
空ビン	本	472	215	0	129	177
金属類	kg	31,561	31,970	34,340	30,523	31,453

（入間市総合クリーンセンター資料より）

## ③ 生ごみ処理機器購入費補助について

市では、家庭ごみの減量対策の一環として、生ごみ処理機（電気式）又は生ごみ処理容器（コンポスト）の購入に対し、補助金を交付しています。

生ごみ処理機（電気式・1世帯1基まで）は、購入価格（消費税込み）の3分の1で2万円を限度とします。生ごみ処理容器（コンポスト・1世帯2基まで）は、1基につき4千円を限度とした購入価格（消費税込み）とします。

交付状況の推移については次表のとおりです。

（単位：基）

種 類	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
容器式	20	16	17	6	9	20	21	17	16	12
電気式	6	4	8	11	10	16	16	11	21	38

（入間市総合クリーンセンター資料より）

#### ④ 炉のダイオキシン類濃度測定について

毎年、各炉の排ガス中・飛灰中のダイオキシン類濃度について測定を行っています。測定結果の推移は次表のとおりです。10年以上基準値を下回る状況が続いています。

測定時期	1号炉	2号炉	3号炉	1号炉	2号炉	3号炉
	排ガス中濃度			灰（飛灰）中濃度		
	単位：ng-TEQ/m <sup>3</sup> N			単位：ng-TEQ/g		
平成10年10月	0.68	0.46	0.54	0.84	0.37	0.23
平成11年11月	0.50	0.15	0.39	1.00	0.76	0.75
平成12年11月	0.27	0.27	0.21	2.30	1.00	1.40
平成13年11月	0.65	0.53	0.47	1.00	0.76	0.75
平成14年7月	0.41	0.62	0.29	3.10	2.10	2.40
平成15年10～11月	1.20	1.40	0.95	1.80	3.80	1.60
平成16年10～11月	2.40	1.20	0.55	1.40	1.10	3.10
平成17年9～11月	0.44	0.31	0.49	0.53	0.59	0.53
平成18年7月	0.76	0.86	0.13	0.31	0.52	0.69
平成19年7月	0.38	0.33	0.54	0.36	0.80	0.22
平成20年7月	0.13	0.49	0.44	1.20	0.43	1.10
平成21年7月	0.33	1.0	0.71	0.56	1.20	0.89
平成22年7月	1.20	1.60	3.80	0.97	0.73	1.60
平成23年7月	0.43	0.049	0.26	0.97	0.70	1.30
平成24年7月	0.60	0.71	0.47	0.76	0.63	0.51
平成25年7月	1.10	0.54	0.57	1.60	0.73	1.50
平成26年7月	0.94	0.53	0.79	1.50	1.40	0.92
平成27年7～8月	0.62	0.40	0.78	1.60（1～3号炉の混合灰）		
平成28年7月	0.77	0.58	0.32	2.10（1～3号炉の混合灰）		
平成29年7月	0.70	0.95	0.98	1.80（1～3号炉の混合灰）		
平成30年7月	2.00	1.30	1.80	1.90（1～3号炉の混合灰）		
令和元年7月	0.56	0.44	0.69	1.50（1～3号炉の混合灰）		
令和2年7月	0.56	0.40	0.59	0.83（1～3号炉の混合灰）		
令和3年7月	0.38	0.33	0.48	1.00（1～3号炉の混合灰）		
令和4年9月	0.34	0.92	0.69	1.50（1～3号炉の混合灰）		
令和5年7月	0.55	0.97	0.52	1.10（1～3号炉の混合灰）		
令和6年7月	0.32	0.61	0.45	0.78（1～3号炉の混合灰）		
基準値	5.00（排出基準）*1			3.00（処理基準）*2 【参考値】		

（入間市総合クリーンセンター資料より）

\*1 排出基準「5.00」は平成14年12月1日から適用

\*2 処理基準「3.00」は、排出されるばいじん（飛灰）を埋め立てる場合に使用する基準値（「ばいじん及び焼却灰等の処分を行う際の基準値」）ですが（\*3）、ダイオキシン類対策特別措置法施行（平成

12年1月15日)の際に、既に設置されていた特定施設である廃棄物焼却炉から排出される灰を薬剤処理により処分する限りこの基準は適用されません(\*4)。

\*3 ダイオキシン類対策特別措置法におけるばいじん等処理基準(廃棄物処理法・埋立処分基準)

\*4 平成15年3月3日環境省令

なお、総合クリーンセンターでは、平成8年度から、ばいじん(飛灰)の薬剤処理を行っています。

## ⑤ 総合クリーンセンター周辺の大気調査について

廃棄物焼却炉から排出される排ガスが周辺大気環境へ及ぼす影響を検討する上での基礎資料を得ることを目的として、クリーンセンター周辺の大気調査を行っています。

測定地点はクリーンセンター周辺の4箇所で、測定項目は二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)、浮遊粒子状物質(SPM)、一酸化炭素(CO)、塩化水素(HCl)、ダイオキシン類です。

### 夏期

実施なし

### 冬期

ダイオキシン類	令和7年1月27日:10時~2月3日:10時
一般大気	令和7年1月27日:0時~2月2日:24時

### ・ダイオキシン類

単位:毒性等量(pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点	測定結果	環境基準
東金子第14区集会所	0.014	年間 平均値が0.6以下

- ・二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、浮遊粒子状物質（SPM）、一酸化炭素（CO）、塩化水素（HCl）

※ア：期間平均値

イ：日平均値の最高値

ウ：1 時間値の最高値

## 夏期

実施なし

## 冬期

調査結果

調査地点	SO <sub>2</sub> (単位：ppm)			NO <sub>2</sub> (単位：ppm)			SPM (単位：mg/m <sup>3</sup> )			CO (単位：ppm)			HCl (単位：ppm)	
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ
東金子 第14区 集会所	0.002	0.002	0.004	0.018	0.026	0.038	0.008	0.020	0.033	0.3	0.4	0.7	<0.001	<0.001
環境基準	—	0.04 ppm 以下	0.1 ppm 以下	—	0.06 ppm 以下	—	—	0.10 mg/m <sup>3</sup> 以下	0.20 mg/m <sup>3</sup> 以下	—	10 ppm 以下	—	5ppm (※許容濃度)	